

独立行政法人日本学術振興会 理事長 殿

採用年度

受付番号

氏 名

一時帰国届・願

下記のとおり、一時帰国をしますので（届け出いたします・承認願います）。
 なお、一時帰国することについて、事前に受入研究者の承諾を得ていることに相違ありません。

記

1. 一時帰国期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日（日間）
 （日本到着日） （日本出国日）

別紙日程表のとおり（様式 12－別紙日程表を添付すること）

※1 回当たりの帰国日数は14日以内、通算40日以内です。

2. 理由

ア. 学会・会議等への参加のため

（学会・会議等名称：
 URL：
 海外特別研究員の研究活動との関係（有・無）

イ. 海外特別研究員の研究課題に関する研究実施及び研究打合せのため

（日時・場所・研究機関名・実施内容・打合せ相手の氏名・職名・連絡先 E-mail

ウ. 大学等研究機関に就職するための面接試験等への出席のため

（日時・場所・面接担当者氏名・機関名・面接担当者の連絡先 E-mail

エ. その他

（

3. 旅費等の支給

・旅費の支給（有・無）

（日当については受給することはできないため、他からの日当は辞退してください。）

(注)

- ① 一時帰国期間中は滞在費・研究活動費を支給しません。ただし、日本到着日、日本出国日、研究と密接に関わる研究打ち合わせ及び学会、会議等への出席日及び大学等の研究機関に就職するための面接試験等への出席日については、研究活動を継続していることが明らかであるため例外として支給対象とします。この場合は、「一時帰国届」による届出のみで手続きが可能です。一方、例外に該当しない場合（私用等）は、本会の事前の承認手続が必要ですので、「一時帰国願」にて申請してください。本会で承認手続の上、別途回答を通知します。
- ② 「2. 理由」について、ア～エのいずれか該当するものに○を付け（複数選択可）、その詳細を記入してください。イの打合せ相手が複数名いる場合は、代表者1名のみ記載してください。エに該当する場合は、その内容を簡潔に記入し、ア～ウ以外で海外特別研究員の研究活動の遂行に必要な理由の場合は、そのことがわかるように記入してください。